

目指せなでしこリーグ

八学大 女子サッカークラブ設立

幅広い世代24人集結



初の公式試合に勝利した八戸学院
大女子サッカークラブの選手たち
14日、十和田市(同大提供)

八戸市の八戸学院大学(水野眞佐夫学長)は今月、女子サッカーのクラブチームを設立した。同大の女子部員をはじめ高校生、社会人の計24人が所属する。将来は、クラブ名を現在の校名から地域を代表する名称に変更する予定で、国内女子リーグ最高峰「なでしこリーグ」への参入を視野に活動する。

(大久保拓地)

同大の女子サッカー部は全日本学生選手権に4年連続出場している強豪。しかし系列校の八戸学院光星高校(同市)では4月に女子サッカー部ができたばかりで部員がまだ少ない。クラブ設立は練習環境の整備のほか、幅広い世代が一堂に集まり、優秀な選手の技術や考え方を吸収し合えるメリットがある。

クラブは当面、東北総体、国体、皇后杯全日本女子選手権への出場を重ねながら、運営や成績が安定した段階で、なでしこリーグへの参入を検討する方針。試合をするだけでなく、八戸

周辺地域で普及に貢献することも目的にしており、指導員や審判員の育成も行う。所属している24人の内訳は高校生4人、同大サッカー部17人、社会人3人。同大の畑中孝太監督ら4人が指導に当たる。週6日、同市のダイハツスタジアムなどで練習に励んでいる。

同クラブは高校生以上の女性であれば入会可能。問い合わせは同大(電話0178-301700)へ。